



「あひる」50号に寄せて

橋本 アヤ子



—大切な仲間を—

良い仲間を作り、仲間からたくさん教えてもらうこと。どんな誘惑にも負けない強い気持ちを持つこと。そして、大人たちも青少年を見守る温かい目を持ち続けてほしい。

中年時代に、心を込めて活動いたしました1ページをおくります。

和光市の前身、大和町の時代に、昭和40年の頃でした。「良い本を読む会」という悪書追放を掲げた会ができ、委員になりました。

その後、大和町から和光市に変わり、昭和46年「良い本を読む運動推進委員会」となり、地域のひとと、各小中学校から2名選出されての構成メンバーになりました。その活動が実り、悪書の自動販売機は姿を消し、駅のホームにありました白いポストも、いかがわしいチラシやポスターも消えました。

でも、簡単に消えたというのではありません。事務局と町内を歩き回りましたその時に、快く話を聞いてくださる人もおりましたが、怒鳴られたり、押し出されたりした怖い思いもいたしました。

時代の流れか、地道な活動の

成果なのか、現在では、悪書の自動販売機は見当たりません。かつて活動に関わったものとしては、本当に喜ばしいことと思っております。

その後、同和問題や市民会議など行政も新たな策を取り組んでおりますが、目を見張るようなひどい事件・悪質な事件が日々の中で起こっております。

社会が悪いのか、家庭がダメなのか、地域力の無さか、何か心配が広がります。ここに40年を歩んできたものとしての青少年へのメッセージを贈ります。

良い仲間を作り、仲間からたくさん教えてもらうこと。どんな誘惑にも負けない強い気持ちを持つこと。そして、大人たちも青少年を見守る温かい目を持ち続けてほしいと思います。

今でも、ともに活動した当時の仲間とお茶をいただきながら、そのころの思い出を語り「一番楽しかった!」と懐かしく花を咲かせております。

和光市青少年育成推進委員会の活動の一つとして

私たち推進員は、目まぐるしく変容する社会の中で、子どもたちが元来の素直さと明るさを持って成長し、育んでいくことを願っております。

今年もまた、「青少年をまもる店」協力店を一軒一軒訪問して、最近の地域の状況などを伺いました。「青少年をまもる店」はあひるのマークが目印です)

- 訪問月間／6月～7月
- 訪問地域／和光市小学校区全域
- 訪問者／青少年育成推進員 32名
- 伺った内容
来店時の子ども達の様子
最近の地域の様子など
※訪問カードの中から、伺ったことを業種別に抜粋しました。

「青少年をまもる店」のプレート、見たことありますか？



地域のお店・コンビニ・駅前商店街など、このプレートが掲示されています。

書店・文具店

- タバコの自動販売機が、外にあり未成年と思われる姿を見かけ注意をするが、タイミングが難しい。
- 自販機のつり銭を取り忘れたら、届けてくれる人がいる。

ファミリーレストラン

- 放置自転車が多い。
- 服装の良くない子どもたちの、夜の徘徊が増えてきたように見受けられる。
- 夜中に、駐車場などで地べたに座り込んでる姿を見かける。

美容・理容店

- 入り口の自動ドアを用もないのに開け、素通りする。
- 下校時に石や缶を蹴って歩いていることがあり、店のガラスに当たったことがあった。

自転車バイク店

- 親や、地域の大人が手本となるような努力が、必要かもしれない。
- 地元の小・中学生のグループ行動が少なくなったように見える。

飲食店 (居酒屋など)

- 駅前のマナーが良くない (自転車の置き方・通行人)。
- 親子連れのマナーが悪く、親は話に夢中になり子どもが走り回るので、注意をすると逆に怒られる。

酒・たばこ店

- たまに、明らかに未成年と思える子どもがタバコやビールを買いに来る。
- 子どもたちより若い大人の方がマナーが悪く、食べたものの片づけをしないで帰ったりする。

塗料・金物店

- 24時間営業のコンビニが近いので、夜中から朝方にかけてうるさい。

朝霞警察署との情報交換会



7月13日（水）定例会時に、朝霞警察署生活安全課少年係長高橋氏と和光市駅前交番成田氏にお越しいただき情報交換会を行いました。

朝霞警察署管内における犯罪の件数・検挙率は県内のワースト上位に入ること、また低年齢化しているという凶悪犯罪。

日ごろ私たちには、知る機会のない補導の場所や、深

夜の駅付近の様子などのお話をお聞きしました。

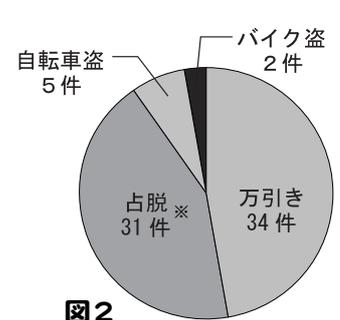
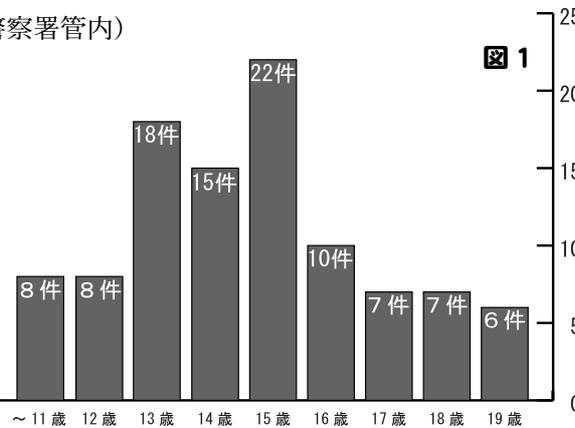
現在、世の中の風潮が人と人とのつながりを希薄にし「隣は何をする人ぞ」になっています。しかし、身近な青少年の非行や犯罪を防ぐには、家庭はもちろんですが、地域・学校の連携の大切さ、正しい情報の共有化がいかに大切であるかを改めて思い知りました。

刑法犯少年の傾向

(平成17年1月～5月、朝霞警察署管内)

朝霞警察署管内の刑法犯検挙人員が231件中、少年の検挙補導人員が101件にのぼる。年齢別状況は図1のとおり、13歳から15歳までの補導件数が目立つ。

また、101件の検挙補導のうち、72件は初発型非行で、内訳は図2のとおり、万引きと占脱が6割を占めている。



※占脱：占有離脱物横領罪の事で、窃盗犯人などが放置した物を盗む罪。

スーパーマーケット

○青少年の万引きは少ないが、中高年（特に高齢者）の万引きが多発している。

コンビニエンスストア

○塾帰りと思われる子どもたちが、22時以降店に来るが、心配である。

麻雀・パチンコ店

○駅前にたむろして居ることが気になる、何とかならないものだろうか。

ゲームセンター

○成人に達しているのか不明な場合があり、証明書が必要なのかと思える。18時以降になっても帰らずにいる。

ゲームソフト販売・CDショップ

○幼児や、小学生が1万円を持って買い物をしているが、保護者への指導が必要と思われる。

スポーツ用品店

○大型店が出てきたので、子どもたちの来店が減り、接触が少なくなった。
○子どもたちとの繋がりが希薄になった。

バッティングセンター・その他

○交通量が多い通りが増え、危険だと思うことがある。

まとめ

私たちの活動を理解し協力してくださる様子が伺え、活動の継続の大切さなどを思い知りました。

ふれあい あれこれ

和光市内には、4つのコミュニティセンターがあり、地域子どもたちが利用しています。今回、コミセンの職員の方から原稿をいただきました。



皆で 作り上げていく

牛房 コミセン

牛房地区は育成会の活動が盛んで、市の催しなどに積極的に参加しています。そのため地域子どもたちが、出し物の練習などでよく来ます。特に7月に行われる地元の八雲神社のお祭りには欠かせない存在です。

毎年、小学生を中心にして、ボーリングやくじ引きなどのゲームを決めて、材料集めから遊び方まで、1か月ほどかけて手作りで準備をしてお祭りを盛り上げてくれています。

塾などに行く少しの時間でも来て、自分の責任を果たしていく子を見ていると感心しております。



異年齢との ふれあい

新倉 コミセン

私たちのコミセンは新倉小学校の近くにあるので、地区子ども会・育成会、スポーツ団体などの親睦会・サークル活動などで利用されていることが多く、その中で実感したことがあります。

年齢の違う子どもたちの交流の場を、親が考え実行し、子どもたちが楽しそうに交流している姿を見ると心の結びつきを感じほほえましく思います。

また、昨今の子どもたちを取り巻く環境が、大きく変化しているためか、習い事終了後は□ビーでリサイクル本を読んだり、テレビを見て親のお迎えを待っている子どもの姿を見かけます。

健やかに安心して暮らせる環境を作るためには、地域全体で考え・見守り、そして協力できる体制が必要ではと感じています。

平成 17 年度 青少年育成推進員名簿

敬称略 (◎会長 ○副会長)

◎大坂 良子 地域代表
○大谷 鐵子 地域代表
栗原 千賀子 地域代表
永井 容子 地域代表
内藤 礼子 地域代表
畠山 小百合 地域代表
大泉 久子 地域代表
布施 恵利子 地域代表
私市 久美子 地域代表
中尾 真弓 地域代表
尾山 利智子 白子小学校
石川 弘子 白子小学校
本告 由美 新倉小学校
甲斐 心子 新倉小学校

長谷川 玲子 第三小学校
本島 美知子 第三小学校
逸見 信子 第四小学校
小山内 真弓 第四小学校
木村 紀子 第五小学校
池田 千里 第五小学校
金田 絹子 広沢小学校
梅木 之恵 広沢小学校
巴 由紀子 北原小学校
川村 征子 北原小学校
玉井 智子 本町小学校
金月 律子 本町小学校
片岡 幸恵 大和中学校
松本 妙子 大和中学校

与那嶺ゆかり 第二中学校
亀山 円 第二中学校
浪間 美樹 第三中学校
水津 裕子 第三中学校



「家庭の日」シンボルマーク